東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan

TEATRO COMUNALE di BOLOGNA fondazione

Music Program TOKYO　Enjoy Concert シャイニング✦シリーズ Vol.5

ARTS COUNCIL TOKYO

TEATRO COMUNALE DI BOLOGNA

ボローニャ歌劇場

～東京音楽コンクール入賞者とともに～

STRING QUINTET

弦楽五重奏

©gilles alonso

エマヌエーレ・ベンフェナーティ Emanuele Benfenati
ダヴィデ・ドンディ Davide Dondi
エンリーコ・チェレスティーノ Enrico Celestino
フランチェスコ・マリア・パラッツォーリ Francesco Maria Parazzoli
ファビオ・クアランタ Fabio Quaranta

◆ヴァイオリン
エマヌエーレ・ベンフェナーティ
（ボローニャ歌劇場コンサートマスター）
ダヴィデ・ドンディ
（ボローニャ歌劇場首席ヴァイオリン奏者）
依田真宣（＊第4回弦楽部門第2位）
岸本萌乃加（＊第9回弦楽部門第1位）
篠原悠那（＊第11回弦楽部門第2位）
坪井夏美（＊第12回弦楽部門第1位及び聴衆賞）
荒井里桜（＊第15回弦楽部門第1位及び聴衆賞）
三原久遠
鍵冨弦太郎

♠ヴィオラ
エンリーコ・チェレスティーノ
（ボローニャ歌劇場首席ヴィオラ奏者）
瀧本麻衣子（＊第10回弦楽部門第3位）
田原綾子（＊第11回弦楽部門第1位及び聴衆賞）

♥チェロ
フランチェスコ・マリア・パラッツォーリ
（ボローニャ歌劇場首席チェロ奏者）
水野優也（＊第13回弦楽部門第1位及び聴衆賞）

♣コントラバス
ファビオ・クアランタ
（ボローニャ歌劇場首席コントラバス奏者）

◉チェンバロ
川田健太郎（＊第4回ピアノ部門第3位）

▼クラリネット
アレッサンドロ・ベヴェラリ
（＊第15回木管部門第1位）

＊東京音楽コンクール入賞者

2019年（令和元年）
10/30（水）19:00開演（18:30開場）
東京文化会館 小ホール

曲目

第一部　ボローニャ歌劇場弦楽五重奏&アレッサンドロ・ベヴェラリ
モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136
ヴェルディ（バッシ編）：リゴレット・ファンタジー
ウェーバー：クラリネット五重奏曲 変ロ長調 op.34

第二部　ボローニャ歌劇場弦楽五重奏&東京音楽コンクール入賞者を中心とした弦楽アンサンブル
ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集 op.8「四季」

全席指定（税込）
9/30まで購入（消費税8%）　3,240円　25歳以下1,080円
10/1以降購入（消費税10%）　3,300円　25歳以下1,100円
※2019年10月1日に予定されている消費税率の改正が実施された場合の金額。
※25歳以下席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。（要証明書）

発売日　5月25日（土）

■東京文化会館チケットサービス
……03-5685-0650　www.t-bunka.jp
■チケットぴあ……0570-02-9999　t.pia.jp
■イープラス……eplus.jp/t-bunka/
■ローソンチケット……0570-000-407　l-tike.com

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※託児サービス（要予約・有料・10/23（水）17時締切）があります。イベント託児・マザーズ：0120-788-222
※都合により曲目等、変更の可能性がございますのでご了承ください。

主催：東京都／東京文化会館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
後援：イタリア大使館／イタリア文化会館　助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

Ambasciata d'Italia Tokyo　ISTITUTO italiano di CULTURA TOKYO　文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金
（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

企画制作・お問合せ：東京文化会館 事業係　03-3828-2111（代表）　www.t-bunka.jp　@tbunka_official

文化でつながる。未来とつながる。
Tokyo Tokyo FESTIVAL

ボローニャ歌劇場といえば1763年開場の名門にして、今もスカラ座と並ぶイタリアオペラの代表格です。もう10年以上にわたり毎年ここのオーケストラを聴いてきた私ですが、それはまごうことなき「歌のオーケストラ」。常に歌手に寄り添い、マエストロのタクトにきちんと、あるいは瞬時に反応して音楽を創っていく能力が本当に図抜けている！それは個々のメンバーの優れた個人技とお互いの観察力、そしてコンビネーションの鮮やかな融合なのです。

その意味でコンサートマスターのエマヌエーレ・ベンフェナーティと弦の首席奏者達による弦楽五重奏はこのオーケストラの極上のエッセンスを味わえるはず。青春のモーツァルトがイタリア旅から帰郷して書いたK136のディヴェルティメントや、ヴェルディの歌劇「リゴレット」をモチーフにしたファンタジーでは濃密なるイタリアの風を感じましょう。

このコンサートには更なるお楽しみが…。それは東京文化会館が毎年主催している「東京音楽コンクール」の歴代入賞者がボローニャのメンバーとアンサンブルを組むという事。前半ではクラリネットのアレッサンドロ・ベヴェラリが、そして後半には弦と鍵盤の入賞者が加わって持ち味を生かした演奏を繰り広げます。このコンクールの優勝者コンサートを毎年司会している私としては、これも是非聴いてみたいと思う由縁なり。

たとえばアレッサンドロ。第15回の木管部門第1位に輝き現在は東京フィルハーモニー交響楽団の首席奏者ですが、この人の音色は人を虜にします。フワリと優しい響きに愛を注ぎ、エネルギーが凝縮されたフォルテの音では火照るが如き情熱を感じさせてくれる稀有なクラリネット。その彼がウェーバーのクラリネット五重奏曲を吹いてくれる！協奏曲風の作品だけに、その華やかな技巧と艶やかな表現を想像しただけでワクワクしてしまいます。

そして「四季」に登場する日本の演奏家たち。コンクールの入賞を追い風に、活躍の場をどんどん広げる面々が揃いました。アレッサンドロと同じく東フィルのコンサートマスターである依田真宣をはじめ、坪井夏美ら弦楽部門のトップ3入賞者が8人も。そこにピアノ部門入賞者、川田健太郎がチェンバロで参加し、ヴァイオリンでは三原久遠（都響）や鍵冨弦太郎といった名手も加わるという豪華な顔ぶれ。彼らとボローニャ歌劇場の首席奏者たちが一緒になると、どんな弦楽オケの響きが聴こえてくるのか？…興味は尽きません。

ところで、あまりにもポピュラーなヴァイオリン協奏曲集である「四季」は、実は音楽史上画期的な情景描写の作品でもあります。春夏秋冬の人・動物・風景・天候の変化が、まるでドキュメンタリー映画のように実にビビッドに描かれてゆく。その描写の要を担うのが独奏ヴァイオリンなのです。同じ台本でも演じる役者が違えば全く異なる作品になるように、「四季」も独奏者で出来が決まります。

このたびソロを弾くエマヌエーレのヴァイオリンは、コンサートマスターだからと言って決してお行儀の良い優等生ではありません。バロックの命である動と静、光と影といったコントラストの妙や、ほとばしる感情表現も大胆に採りこんでの演奏に一気に引き込まれますよ。まさにヨーロッパの田園を実際に旅するかのような、野趣あふれる「四季」が期待できそう。

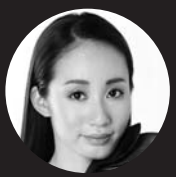
かくして、イタリアと日本の俊英が繰り広げるこの饗宴、特別にして格別なる愉しみになるのは間違いありません。

朝岡 聡（アナウンサー、コンサート・ソムリエ）

©gilles alonso

依田真宣

岸本萌乃加


篠原悠那 ©Kei Uesugi

坪井夏美 ©Kei Uesugi

荒井里桜

三原久遠 ©堀田力丸

鍵冨弦太郎

瀧本麻衣子

田原綾子

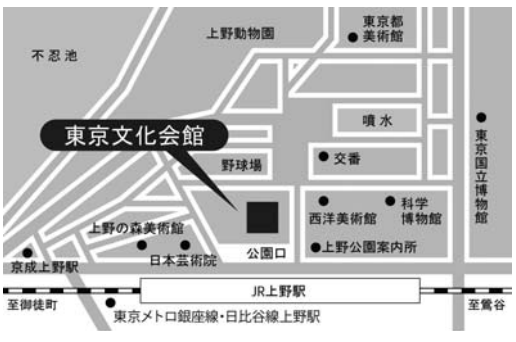
水野優也

川田健太郎

アレッサンドロ・ベヴェラリ

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。



●JR上野駅公園口より徒歩1分　●東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分　●京成電鉄京成上野駅より徒歩7分

公演情報　シャイニング✦シリーズ Vol.6

萩原麻未 ピアノソロ・リサイタル

©Marco Borggreve

2020年（令和2年）2月22日（土）14：00開演
東京文化会館 小ホール

出演 ピアノ：萩原麻未

曲目 ブーレーズ：ピアノのための「12のノタシオン」
ショパン：ピアノ・ソナタ第3番 ロ短調op.58 ほか

料金（税込） 10月12日（土）発売
全席指定 3,300円　25歳以下 1,100円 ※要証明書

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ほか
詳細はホームページへ www.t-bunka.jp